

石川県能登地域におけるトキ放鳥 に向けた取組について

2025年11月11日

第4回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会

石川県能登地域におけるトキ放鳥に向けた取組



石川県は、本州最後のトキの生息地で、トキに大変ゆかりが深い土地であり、トキを「生物多様性」と「里山里海」の保全のシンボルとして、様々な取組を進めてきました。



いしかわ動物園で分散飼育を開始(H22)



「トキ里山館」で一般公開を開始(H28)



小学校でのトキ出前講座(H29～)

○令和4年度

県、能登地域4市5町及び関係団体(※)が「能登地域トキ放鳥受入推進協議会」を設立

▶ トキ放鳥候補地に申請し、選定



知事等による申請の様子

※協議会の構成団体

石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町、珠洲商工会議所、羽咋市商工会、能登半島広域観光協会、日本旅行業協会石川県支部、はくい農業協同組合、志賀農業協同組合、能登わかば農業協同組合、能登農業協同組合、内浦町農業協同組合、中能登森林組合、能登森林組合（計21団体）

○令和5年度

「トキ放鳥推進ロードマップ」記載の取組の「**実行元年**」として、各種取組を開始



石川県能登地域におけるトキ放鳥に向けた取組



○令和6年度

- ・令和6年能登半島地震により最大震度7（マグニチュード7.6）を観測
- ・能登地域の広い範囲で甚大な被害に見舞われる



- ・能登地域4市5町においては、復旧が最優先であるが、トキ放鳥について前向きな姿勢
- ・トキの餌場の確保に向けた取組を実施してきた「トキ放鳥推進モデル地区」の多くの地区からも取組の継続意欲が示される



- ・令和6年6月に策定された、能登半島地震からの創造的復興プランにおいて、「トキが舞う能登の実現」が創造的復興を象徴する「リーディングプロジェクト」に位置付け

石川県
創造的復興プラン

能登が示す、ふるさとの未来
Noto, the future of country

トキの放鳥を震災からの復興のシンボルとして、放鳥実現に向けた取組を加速

-2-

石川県能登地域におけるトキ放鳥に向けた取組



本年2月、令和8年度上半期中を目処とした 能登地域でのトキ放鳥が決定！



-3-

R5～R7年度

能登地域でのトキ放鳥に向けた取組 ～トキ放鳥推進モデル地区の取り組み～



餌資源量調査により、取組による一定の成果が認められたことを踏まえ、
R6年度よりモデル地区の取組を他地区に拡大

トキ放鳥推進モデル地区の取組内容

- ①江や水田魚道、水張水田の設置
- ②化学肥料・化学合成農薬の5割減
- ③無農薬での畦畔除草
- ④冬期湛水の実施
- ⑤生きもの調査の実施



-4-

令和8年度能登地域におけるトキの放鳥場所について ～放鳥場所の選定理由～

- 5月下旬に専門家に能登9市町のモデル地区を現地視察していただいた結果、羽咋市南潟地区及びその周辺を、トキが定着する可能性が最も高い場所と評価
- 環境省作成の「トキ生息ポテンシャルマップ」において、モデル地区周辺の3km四方の生息適地指数を基に評価した結果、南潟地区及びその周辺が「採餌適地」として最も高い評価
- 佐渡でのトキの生息状況を踏まえると、トキ1羽あたりの餌場として必要となる水田面積は、最大でも約10haとなるが、南潟地区から2km圏内（トキの活動領域）の水田面積は約1,185haであり、令和8年度に放鳥される15～20羽程度のトキが生息できる餌場として十分な面積である

能登地域トキ放鳥受入推進協議会での審議のうえ、

羽咋市 南潟地区（邑知潟周辺）に決定



-5-

能登地域でのトキ放鳥に向けた取組

生息環境整備の取組



R5～R6年度実施

能登地域でのトキ放鳥に向けた取組
～餌資源量調査の実施～

【本県調査のポイント】

- 能登の水田等に生息する**体長5mm以上の生物を捕獲し、重量等を計測**
- 能登9市町**で、モデル地区を中心に**3 1 2箇所**を調査対象水田として選定
- 3季（春季、夏季、冬季）**にわたり、**水田と畦畔**を調査
- 結果を基に**湿重量密度（g/m²）**を算出し、**放鳥前の佐渡の調査結果と比較**



調査の様子



採取した生物（例）



能登の水田で採取されたカエル類とゲンゴロウ類



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

田植え後～中干し前

稲刈り前

降雪期

調査スケジュール

社会環境整備の取組

-8-

H29～R7年度

～環境教育の充実～

小学生向け環境教育

トキ舞ういしかわアクションシート

トキの生態や環境の大切さを分かり易く紹介する夏休み用の環境教材を県内全校の4～6年生に配布

いしかわトキこども検定

トキの知識を深め、認知度向上を図る目的で5～6年生を対象に検定試験を実施

トキ出前講座

5～6年生を対象に講師を派遣し、子ども達がトキの生態などの理解を深める講座を開催



アクションシート



トキこども検定



トキ出前講座

未就学児から高校生まで切れ目のない環境教育

絵本の製作・活用

「トキってなあに？ アイとシュロロのトキめきたび」
県内全小学校や保育所等に配布、イベントでも活用



啓発イベントの実施

親子でトキについて学べるイベントを県内各地で6回で実施
(R7年度は4回実施)

高校生のトキ啓発活動に対する支援

高校生が実施するトキに関する啓発活動を支援する
昨年度は3団体を採択



イベントの様子



羽松高校(羽咋市)の生徒がトキクッキーを作成

-9-

- 佐渡島で策定されている「トキとの共生ルール」をもとに、観察マナー啓発動画「もしもトキと見かけたら」を4種類制作（各動画は下記ルールと対応）
- 県公式YouTubeに掲載するほか、イベント等でも活用

- ・**お口にチャック編**＞やさしく静かに見守りましょう
- ・**忍び足編**＞繁殖期間はトキの巣に近づかないようにしましょう
- ・**ごはん編**＞トキに餌付けしないようにしましょう
- ・**立入禁止編**＞トキを観察する時は地域に迷惑をかけないようにしましょう



全編の動画はこちらから

-10-

地域活性化の取組



-11-

R7年度

トキのシンボルマーク・キャラクターについて

- 令和8年度の放鳥に向け制作を進めているシンボルマーク・キャラクターについて、一般投票結果を踏まえ、専門委員会において、[以下のデザインに決定](#)
- キャラクターについて、[愛称公募を実施中](#)（応募締切：11月16日(日)）
- 今後、シンボルマークは米の認証制度などに、キャラクターはトキ放鳥PRや土産物などへの活用を想定



県ホームページ
(応募方法等の詳細はこちら)

一般投票結果

期 間：7月31日～8月21日

投票総数：4,495票（決定デザインは最多得票の1,472票）

決定デザイン

シンボルマーク



■キャラクターと同時に
広まるよう共通で
マーク化したトキ。

■トキの背景に日の丸
を、羽を日本海の波
に見立てている。

キャラクター



■虹色の羽を羽ばたかせ
能登に幸せを運ぶ
愛らしいトキ。

■冠羽に「のと」の文字、
顔は真っ赤なハート型。
お腹には朱鷺色の石川県
を抱え、幸せを象徴する虹
色の羽が特徴。

-12-

羽咋市でのトキ放鳥に向けた取組

羽咋市の取組



令和8年6月頃
本州 **初** のトキ放鳥決定!!



-13-

羽咋市のご紹介

市制施行日：1958年7月1日（昭和33年）
 人口：19,378人（令和7年10月1日現在）
 観光地：千里浜なぎさドライブウェイ
 妙成寺・気多大社・永光寺・コスモアイル羽咋
 特産品：自然栽培米（羽咋米）・神子原米・くわい・すいか
 イノシシ肉（のとし）



日本で唯一
車やバイクで波打ち際を走れる砂浜



境内に10棟の重要文化財建造物が見られる妙成寺



本物の宇宙船が見られる
コスモアイル羽咋



羽咋市のにぎわい拠点
ラクナはくい

-14-

邑知潟と眉丈山



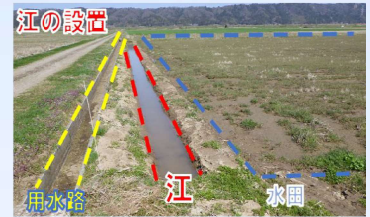
現在の羽咋市航空写真
 水色の線は、干拓前の範囲
 昭和の国営干拓により、能登の大穀倉地帯へ



江戸時代後期の邑知潟の様子
 （約208年前の邑知潟埋め立て計画絵図）

-15-

羽咋市南潟地区（邑知潟周辺）



-16-

羽咋市におけるトキ放鳥に向けた取組

➤ 「羽咋市トキが舞う里推進協議会」を設立

地元の気運醸成を図るために、農業者や有識者、関係団体で構成する協議会を設立

※協議会の構成団体

農業者、はくい農業協同組合、邑知潟土地改良区、中能登森林組合、羽咋市商工会
はくい市観光協会、猟友会羽咋支部、トキ出前講座講師、放鳥地区町会長、とき保育園保護者会
羽咋市立瑞穂小学校PTA、羽咋市立邑知小学校PTA（計16名）

➤ 看板設置

トキ放鳥決定を周知する看板を設置（令和7年11月中旬設置）

➤ トキポロシャツ作成

羽咋市でのトキ放鳥決定の周知と気運醸成

➤ 先進地視察（新潟県佐渡市）

トキ放鳥に向けての環境整備や気運醸成の取組を学ぶ
（令和7年11月17日～19日実施予定）



-17-

羽咋市におけるトキ放鳥に向けた取組

羽咋市歴史民俗資料館で企画展「トキが舞う能登」を開催し、能登でのトキ放鳥に向けて、こどもたちにトキの生態やトキの保護活動に尽力した今年100歳を迎えた村本義雄氏の保護活動を紹介

村本義雄氏の所蔵していた能登のトキの資料展示とともに石川県トキスパーバイザーの村本義雄氏の講演会を実施し、トキを通じた能登の自然と未来への理解を深めた



企画展「トキが舞う能登」
(R7.7.19～9.15)
羽咋市歴史民俗資料館で開催



村本義雄氏のトキの講演会2回実施
(R7.8.3と10)



トキのはく製を公開
(R7.8.2～11)
鹿島路公民館所蔵資料



企画展「トキが舞う能登」ちらし表・裏(R7)



「総合的な探究の時間」
松高生が企画展の展示見学(R7.8.19)



講演前に宮本光子氏「トキの歌」を歌唱
(R7.8.10)

-18-

能登の創造的復興のシンボルとして、来年6月頃に実施されるトキ放鳥に向けて、地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、関係団体と一致団結し、準備に万全を期します。

-19-